

## 聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、該当委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドおよびアピラテロンの使用経験		
② 実施予定期間	2014年7月～2017年12月（予定）		
③ 対象患者	去勢抵抗性前立腺癌の診断で去勢抵抗性前立腺癌治療薬であるイクスタンジ（エンザルタミド）もしくはザイティガ（アピラテロン）を使用した症例		
④ 対象期間	2014年7月から2017年1月まで		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	泌尿器科		
⑦ 研究責任者	氏名	広重 佑	所属 泌尿器科
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢、初診時PSA値、生検時のグリソンスコア、臨床病期</li> <li>・治療方針（根治治療の有無、治療に使用した薬剤と投与期間）</li> <li>・治療効果（治療後のPSA）および有害事象の有無</li> <li>・転帰</li> </ul>		
⑨ 研究の概要	当院を主施設として、久留米大学病院他8施設が共同で研究を行います。現時点で去勢抵抗性前立腺癌に対しての薬物療法に関して統一した治療体系は存在しないため、過去に治療した去勢抵抗性前立腺癌の経過を解析し有効な治療方針を考察します。		
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2017年 2月 21日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会および論文で発表します		
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定できる情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。個人情報責任者を設定や連結可能匿名化を行うことなどにより、個人情報の保護を行います。		
⑭ 知的財産権	聖マリア病院に属します		
⑮ 研究の資金源	なし		
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院	泌尿器科	広重 佑
	電話	0942-35-3322	FAX